

「原爆の火」を永久保存—日山大師

☆日山大師（たつの市）に「原爆の火」が永久保存されています。広島への原爆投下の直後、兵士の山本達吉さんが、市内のおじさんの消息をたずねて訪れた際に地下倉庫で燃えていた原爆の火をカイロ灰に移し、郷里の福岡県八女郡星野村（当時）に持ち帰りました。自宅のイロリで保存していたものを、「平和を願う供養の火として永遠に」との村民の総意で村役場の「平和の塔」で保存されるように。1988年、原水爆禁止世界大会提唱の「平和の波」行動で全国リレーがされた際に、神戸市兵庫区の妙法華院とともに永久保存の努力が始まりました。90年10月、県原水協の梶本事務局長らがニュージーランドに運び、非核「神戸方式」を国の法律とするニュージーランドの首都ウェリントン市の平和公園に永久保存されています。

原水爆禁止 2014 年世界大会への各国政府からのメッセージ

◇ルイス・アルベルト・フィゲイレド・マシャード/ブラジル連邦共和国外務大臣

広島と長崎を思うとき頭に浮かぶのは、「もう二度と」という言葉です。人間がこのような残酷な兵器の犠牲になることを二度と許してはなりません。ブラジルは、世界から核兵器をなくすことが、その目標を達成する唯一の道であると信じています。...ブラジルは、NPTの発効から40年が過ぎたにもかかわらず、核兵器の廃絶に関して明らかな「順守違反」が続いていることを遺憾とするものです。冷戦終結から20年以上になりますが、今も17300発の核弾頭（うち4300発は配備済み）が、NPT締約国および非締約国の管理下に置かれています。これらの国々は核兵器の維持と近代化のために、毎年1千億ドル以上を支出しています。この金額の半分があれば、2015年ミレニアム開発目標を含め、社会経済的目標である貧困の削減が十分達成できるとされています。...核兵器は、無差別で過大な破壊を引き起こす力を持っています。核兵器は、例えば軍事目標と民間施設、あるいは戦闘員と非戦闘員を区別することができません。紛争と無関係の近隣諸国の国民も、核爆発により拡散する放射性降下物の影響で被害を受けることになるのです。被災者の大多数が民間人となる事は避けられません。これらの理由から、核兵器の使用は国際人道法と相容れないのです。核爆発が起こった時に十分な人道的対応をすることは不可能です。これを完全に有効に防ぐ唯一の方法は、核兵器の完全で不可逆的な禁止です。この人道的な観点から、核軍縮の議論においてその重要性を顕著に増しており、ブラジルはこの流れを強く支持するものです。これに関連してわれわれは、既存の多国間討論の場において、核兵器保有国の参加も得て、核兵器を禁止するための法的拘束力ある条約について交渉を開始することを支持します。

[非核平和都市宣言に関する決議]

青い空と千種川の清流にはぐくまれたわがまちあこう、安全で明るくおだやかな暮らしは、赤穂市民のみならず、平和を愛するすべての人々の願いです。そんな平和への願いとはうらはらに、核軍備拡大競争が依然として続けられ、地球上の生命そのものが深刻な脅威にさらされています。赤穂市は、人類共通の願いである真の恒久平和にむけて、恐ろしい核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませぬ「非核三原則」を将来とも遵守し、世界中のから核兵器が廃絶されることを希求し、ここに核兵器の廃絶を強く訴えるとともに、平和を愛する社会をはぐくみ、築くことを誓い、ここに「非核平和都市」とすることを宣言します。以上、決議する。

昭和60年（1985年）12月25日 赤穂市議会

[非核平和都市宣言に関する決議]

世界で唯一の被爆国である我が国は、核兵器戦争のもたらす大惨禍を身をもって体験したところであり、世界の恒久平和実現のためにも核兵器廃絶の願いは切実である。しかるに、最近の世界状況をみると、核軍備拡大競争が依然として続けられ、地球上の生命そのものが深刻な脅威にさらされていることは、まことに遺憾である。相生市議会は、人類共通の念願である真の平和と、国是である非核三原則が遵守され、全世界から核兵器が廃絶されることを希求し、ここに核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。以上、決議する。

昭和61年（1986年）9月16日 相生市議会

昨年の沿道募金実績

龍野市役所→相生市役所

13年/7,905円、10年/25,500円、03年/22,900円、00

年/40,907円、96年/39,415円、95年/60,803円

相生市役所→赤穂市役所

2013年/6,703円、2010年/

26,994円、08年/21,438円、98年/32,043円、96年/36,209円、95年/40,928円

コース計

2013年/1

4、608円、10年/52,494円、08年/42,438円、00年/60,245円、96年/75,624円、95年/101,731円

明日16日（水）兵庫県最終日=約10キロですが2つの峠を越えます

※赤穂市役所（8時半集合・9時発）—休憩・JR天和駅前（11時頃）/行進者全員で記念写真撮ります—鳥打峠—岡山県境—県境浜山バス停（12時15分）→岡山へ引継ぎ